

授業改善等に関する報告書（2020年後期）短期大学部

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（後期）英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
イギリス文化事情	太田 祐子	皆さんがオンライン授業の授業内容や課題に、積極的にそして真剣に取り組み学修した結果、アンケートの意見にあるようにイギリス文化全般の詳しい理解を深めることにつながったと思います。各回の課題の皆さんの説明内容も、回を追うごとに充実し進歩が見られました。今後も異文化について問題を発見し、知識を深めることができる授業になるよう努力していきたいと思います。
Workshop D	大倉 恭輔	毎回の授業で、全員にコメント・修正を加えるのは難しいことです。けれど、他の受講生へのコメントを自分に置き換えて推敲するようにしてください。授業開始時にもいいましたが、何度も何度も書き直す（推敲する）ことの積み重ねをしないと、身につかないのです。あと、他の授業でも同じですが、教員へ積極的に質問をしてくださいね。
オーストラリア文化事情	三田 薫	設問の全項目について、平均を上回り、「この授業を通じて、自身の成長が実感できた」と感じてくれたことをうれしく思います。毎時間提出のレポートや授業内投票から、皆さんの熱心な授業姿勢を知ることができ、教える側の励みになりました。
Workshop E	三田 薫	今年度は授業受講のほかに、皆さんは自宅からオンラインで英会話を受けるという課題を達成しなければなりません。しかしアンケート全項目で平均より高く、また「単語力と文章作成力が身についた」というコメントがあり、皆さんが仲間と協力してよく頑張ってくれたことがわかりました。
ListeningB(E②)	霜田 敦子	前期に引き続きzoomによるオンライン授業でしたのでちゃんと伝わっているのかとても心配でしたが、問4. どのくらい授業が理解できましたか、の項目で80%を超える学生が「十分に、ほぼ」理解できた、と答えてくれて本当に安堵しました。お互いに不安を感じながらのzoomによる授業で、通信環境が整わなかったりいろいろなトラブルもありましたが、いつも真剣に授業に参加し協力してくれたおかげで、大きなトラブルもなく終えることができ、クラスの皆さんに感謝しています。特に、音読の練習や発表を通して、英語を発音することに自信を持ってくれたことが大きな成果です。
英語学B	藤原 正道	毎回の論述テスト大変だったと思いますが、論理的説明の仕方は身についたのではないのでしょうか？英語の技術だけではなく、科学的思考は一生役立つと思います。個々の回答に細かく添削できなかったのは残念です。皆さんの貴重な意見を今後の授業改善に役立てたいと思います。
ListeningB(E③)	霜田 敦子	前期に引き続きzoomによるオンライン授業でしたのでちゃんと伝わっているのかとても心配でしたが、問4. どのくらい授業が理解できましたか、の項目で87%の学生が「十分に、ほぼ」理解できた、と答えてくれたので本当に安堵しました。お互いに不安を感じながらのzoomによる授業で、通信環境が整わなかったりいろいろなトラブルもありましたが、いつも真剣に授業に参加し協力してくれたおかげで、大きなトラブルもなく終えることができ、クラスの皆さんに感謝しています。特に、音読の練習や発表を通して、英語を発音することに自信を持ってくれたことが大きな成果です。
ListeningB(E④)	霜田 敦子	前期に引き続きzoomによるオンライン授業でしたのでちゃんと伝わっているのかとても心配でしたが、問4. どのくらい授業が理解できましたか、の項目で83%の学生が「十分に、ほぼ」理解できた、と答えてくれて本当に安堵しました。お互いに不安を感じながらのzoomによる授業で、通信環境が整わなかったりいろいろなトラブルもありましたが、いつも真剣に授業に参加し協力してくれたおかげで、大きなトラブルもなく終えることができ、クラスの皆さんに感謝しています。特に、音読の練習や発表を通して、英語を発音することに自信を持ってくれたことが大きな成果です。
マーケティング	大倉 恭輔	教材DVDを併用していますので、具体的なイメージがつかみやす区になっていると思います。それでも、まだ耳慣れない用語や考え方でまとった部分があったようです。他の授業でも同じですが、教員へ積極的に質問をしてくださいね。
アニメ・マンガ英語	武内 一良	中学あるいは高校で英語が苦手あるいは嫌いになってしまった学生を中心に分かり易い授業を心がけましたが、オンデマンドということもあってなかなか全員に分かり易くすることの限界を感じた授業でした。その一方で、分かり易くするための配付物を作成する際に、文法の説明に役立つ新たな発想や分かり易い展開も生み出すことができた点は今後につながる流れを作れたように思います。

[2020（後期）英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ホスピタリティ論	武内 一良	人と人の交流から生まれる思いやりの心を学ぶ授業ですが、今年度は新型コロナウイルスの関係で、教室での発表や教室での交流体験を行うことができませんでした。それに代わる工夫が十分ではなかったため、ただでさえ難しい概念であるホスピタリティを伝えきれなかったようです。この点が大きな反省です。今後も教室活動に制限があることから、さらなる工夫を推し進めていこうと思います。
発音演習B	藤原 正道	「発音演習A」も併せて受講してくれている皆さんが90%くらいいいでしたね。1年の春から比べれば、ずいぶん上達していますよ。このまま維持してくれば良いのにと願うばかりです。一人一人に十分アドバイスできなかったのが、悔やまれるばかりです。皆さんの貴重な意見を今後の授業改善につなげていきたいと思っています。
WritingB(E⑤)	藤原 正道	前期の基礎知識をもとに応用の練習中心の授業を行いましたがいかがだったでしょうか。基礎知識を身につけてそれを練習問題にいかせるようにすることを重要視しましたので、対面に近い形のZoom利用のバーチャル対面授業形式にしました。繰り返し文法規則を思い出し、身につけてください。貴重な意見を今後の授業改善に役立てたいと思います。
英語音声学B	萩野 敏	「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が全体の6割以上と昨年度より増え、「空き時間があつたから」という理由で履修した学生は減りました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が多かったと思います。総合満足度の平均は4.53と、高い目の値でした。高評価を得た部分についても、次年度以降もさらに工夫して取り組んで行ければと思います。
比較文化論B	久保田 佳枝	比較文化論Bはオンデマンド授業であり、また読み書きが多く、毎回の授業準備と復習が大変だったことと存じます。ですが、皆さんのコメントを拝見し、大変ながらも読む、調べる、まとめる、書くといったプロセスを経て達成感を味わうほどまで成長されたことを嬉しく思います。これからもこの調子で勉学に励み、さらなる発展を期待します。
アメリカ文化事情	久保田 佳枝	当該科目は海外英語研修の準備講座ということもあり、歴史から現代社会まで幅広い内容を盛り込んでいます。コメントをくださった皆さんは、自分なりにアメリカに関する知識や理解が深まったり、また準備講座としてそれなりに意味ある科目であったようですので、大変嬉しく思います。アメリカでの一般的なマナー（チップの習慣等）もお伝えしてきましたので、忘れることなく、今後の皆さんのアメリカ旅行などにもお役に立てただけことを期待します。
基礎演習	萩野 敏	前期の「実践入門セミナー」を引き継ぎ担任クラスとして開講されている科目で、引き続き全面オンライン授業となり、試行錯誤に近い演習になってしまいました。大部分の受講者は指示された作業を適確にこなし、よく頑張ったと思います。総合満足度は前期をさらに上回り、4.69というとても高い値でしたので、この科目に求められる役割はほぼ果たせたのだらうと思います。
基礎演習	久保田 佳枝	必修科目であり、また1時間目の授業であったことから、毎回の授業に遅刻することなく出席は大変だったことと思います。朝早くからのプレゼン、よく頑張りました。皆さんが身につけプレゼン力を2年次の卒業演習でも発揮されることを期待します。
基礎演習	大倉 恭輔	グループワークを重視してやってみようという考えだったのですが、うまく機能しなかったようです。各グループを、うまく誘導できなかった点についてお詫びします。ただ、毎回の授業時間内で各グループに示唆を与えることは困難です。各グループ内で分担した作業についてわからないことがあれば、次回の授業まで放っておかないで、教員に質問するようにしてくださいね。
基礎演習	三田 薫	授業では様々なアプリを使用し、次々と新たなことに挑戦してもらいましたが、グループのメンバーで協力してレベルの高い発表をしてくれました。「Miroやzoomでプレゼンの力を身に付けることが出来た」というコメントの通りです。

[2020 (後期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英米言語文化論B	萩野 敏	前期科目「英米言語文化論A」と同様に、「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が6割程度に増え、「空き時間があつたから」という理由で履修した学生は2割以下に減るなど、今年度は受講者の質の変化が見られました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が多かったと思います。総合満足度の平均は4.69と、とても高い値でした。高評価を得た部分についても、次年度以降もさらに工夫して取り組んで行ければと思います。
Workshop F	三田 薫	今年度は授業受講のほかに、皆さんは自宅からオンラインで英会話を受けるという課題を達成しなければなりません。しかしアンケート全項目で平均より高く、また「協力して、発音や、文法のチェックを出来て良かったです。」というコメントがあり、皆さんが仲間と協力してよく頑張ってくれたことがわかりました。
Writing D	久保田 佳枝	日本語の語順や言い回しにとらわれすぎずに内容を理解し、それを伝える英語にしていく。これまでの英語の授業とは異なって慣れるにも大変だったことと思います。通年履修くださった皆さんがコメントをくださっているご様子ですので、1年を通して身につけた「英語脳」「英語発想」を、これからも意識して英文作成に活かしていただけますことを、期待します。
卒業演習B	久保田 佳枝	この科目のプレゼンは時間も長く、またファシリテーションも必要だったことから、準備にはお時間がかかったことと思います。ですが、取り扱ったトピックのおかげか、皆さんよく内容を把握し、クラスでのディスカッションをまとめ上げ、よくできていたと思います。そのためクラスメイトとの意見交換も活発でしたね。卒業後も、この調子でご活躍されることを期待します。
卒業演習B	武内 一良	質問14「自己評価」が思いのほか低いので、小論文を書くことの大変さがうかがい知れます。今後は、自己評価も十分満足できるレベルに追いつくように学期途中で引き上げを図っていこうと思います。
卒業演習B	萩野 敏	回答者数が非常に少なかったですが、総合満足度の平均は4.40と、これまで同様に高めの値でした。この項目に限らず全体的に高い評価を得ることができました。一方で、学生の発表が中心となる演習なので、この形式の授業評価にはやや戸惑いがあるようにも思われます。
卒業演習B	藤原 正道	資料を事前に読んでおいて、コメントするという「ザ・演習」でしたが、皆さんはさらに分からないところも調べておくという完璧な授業態度でした。対面でなかったのが、意見を述べやすかったと言う面もあったかもしれません。皆さんの貴重な意見を今後の授業改善に生かしたいと思います。
卒業演習B	三田 薫	今年度は毎回オンライン授業となりましたが、アンケート全項目で平均より高く、皆さんが仲間と協力して課題に取り組んでくれたこと、立派な作品ができたことをうれしく思います。
卒業演習B	大倉 恭輔	卒業レポートの指導を「オンライン上+授業時間内」でまとめるのは難しい部分があります。もっと、積極的に質問をして欲しかったところです。何より、1年間という時間をかけてレポートを作り上げていくというシステムなのに、それを活かしてもらえなかったのは残念です。